

年間行事

年中行事の中でも最も重要なものをひとつ挙げるならば、それは毎年新年の第 2 もしくは第 3 日曜日に行われるものである。これは古代インドに起源を持つ、厳粛な儀式である。訪問者は、観音様のもとで御祈祷された浄水をいただきます。この強力な浄水は、様々な病気、特に頭痛を治す力があると考えられている。

同じ日に、三十三間堂の最も有名かつ美しく絵になるイベントも行われる。それが弓道大会（通し矢）である。最高級の着物に身を包んだ出場者が日本全国から集まり、三十三間堂の長い縁側で弓矢の腕を競い合う。何世紀にもわたって、この寺はこの弓道の大会の理想的な会場とみなされてきた。建物が横に長いということと、均等な間隔で並んだ柱が距離を測るのにうってつけだったためである。今日、このイベントは「成人の日」と強く結び付けられている。20 歳になる参加者は、通常、この大会に参加することを通過儀礼と考えている。

その他の大きなお祭りとしては、毎年 2 月 3 日の節分がある。この日は伝統的に冬と春の境目と考えられてきた。5 月の第 1 日曜日には「創設者の日」（開山忌）が行われる。これは、1164 年に三十三間堂を建設した後白河法皇の思い出と遺産を記念する祭りである。